

令和4年5月2日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園  
園長 東海林 肇

## 園長だより「かけはし」

新緑が目に見える爽やかな季節になりましたが、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染傾向が続いています。本園でも休園があり、保護者の方々には、ご負担をおかけしました。お詫び申し上げます。今後は今まで以上に感染予防に力を入れていきますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。ただ、休園明け、子どもたちはいつものようにエネルギーに活動しています。子どもたちの様子を見てみると、職員の暗く沈んだ心の内側を温かいエネルギーで満たしてくれ、元気の源を貰ったような気がします。子どもは、ただそこにいるだけで周りを豊かにしてくれる存在です。健やかな成長を願わずにはられません。園庭では青空にこいのぼりが泳ぎ、さわやかな5月になりました。子どもたちもこいのぼりに負けないように、今日も元気に幼稚園での生活を送っています。ゴールデンウィークも約半分が終わりました。どこかへ出かけたり、家族で話し合ったりするには、絶好の機会かと思えます。ぜひとも、この機会に家族での絆をさらに深めてください。また、交通事故などには十分に注意し、楽しく有意義な生活を送らせてください。この休み中も、自分でできることは自分で行わせるようにしてください。ゴールデンウィークが終わって少し成長していることを願っております。



### 「生活習慣！」

幼児期は、「決まった時間に決まったことをする」という時間の秩序の形成期でもあります。子ども達は、一日のリズムを大切にしながら、幼稚園の生活にも慣れてきています。赤ちゃんの一時期、夜泣きに悩まされたことがあったと思います。夜泣きは、一日中ほとんど寝ている状態から、朝起きてから夜寝る時間までのリズムに合わせようとする時におきると言われます。すなわち、朝起きて、夜寝ることに徐々に合わせようとするのですが、なかなか上手くいかず、真夜中なのに朝かと思って起きてしまうのです。このように人間は生まれた時から生活のリズム作りを気づかぬうちに行っているのです。同じように、この時期の子どもたちは、今、新たな生活のリズム作りの真っ最中なのです。だからこそ、「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムをきちんと身に付けることが大切です。これらのことが、子どもの幼稚園での生活を左右すると言っても過言ではありません。子どもの生活習慣は親が作らなければなりません。ゴールデンウィーク中とはいえ、ここで生活リズムを崩すのはよくありません。多少泣いても、早く寝かせて早く起こすようにしてください。このことが、子どもの成長する基本となります。また、5月は晴れた日が多くなります。ご家庭でも、お子さんの健康管理には十分に気を配っていただきながら天気の良い日は、つとめて戸外で遊び、楽しく活動できるようにし、たくましい心身を育てていただければと思います。よろしくお願いいたします。

